

名大の時間

「名寄市立大学学生自治会」

その主な活動としては、サークルと大学祭である「名大祭」の2つが挙げられる。また、その管理・運営は執行委員会というところで行われている。そして、私はその執行委員会で、副会長と会計長を務めている。

学生自治会は全学生の加入が義務となっており、800名弱の学生が自治会費として毎年2000円を納めるルールと

なっている。また、年間の自治会予算は、

例年400万円程度である。その内訳は、自治会費が150万円程度、そして名寄市立大学後援会からの補助金が200万円程度であり、その他にも前年度からの繰越金、「名大祭」の広告費として地域の皆様から頂いた協賛金、そしてフリーマーケットの出店料などがあ

はコロナ禍の影響を受けている。そのため、自治会の活動内容も大きな制限を受けている。また、感染対策として、ソーシャルディスタンスを保つことが求められている。そのため、サークル活動では学生同士が近づいて行うことが出来ず、試合や練習が思うようにならない状況となっている。

さらに、「名大祭」も対面とオンラインを織り交ぜたハイフレックスで開催せざるをえなかった。また、地域の皆様の参加は感染対策の観点から見送りとなった。

自治会は、現在様々な課題を抱えている。中でも最大の課題は、学生の無関心である。自治会の運営には、多くの学生に協力してもらうことが必要である。しかし、それを実現することが難しいのが現状である。

執行委員会の役員も一学生である。よって、講義や課題、アルバイトに日々追われている。しかしそのような中でも、「学生の大学生活がより良いものとなって欲しい」というその一心で日々活動を行っている。このような自治会の活動に対して、多くの学生が協力してくれることを



ぜひお願いしたい。私はそろそろ副会長と会計長の任期を終える。名寄市立大学学生自治会の発展を祈るとともに、地域の皆様からのご協力を頂けることを切に願う。

社会福祉学科3年 田上悠衣